

### 社会調査法 社会福祉調査法

### 第9回 2016年6月8日

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## NBU

### 度数分布表(pp.146-147)

- ・最小値と最大値を求める。
- 区分する(10点刻みなど)
- 表を作成する
- 縦棒グラフを作成する。

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

# NBU

#### 算術平均(p.148)

- 一般的に平均とよばれるもの。
- 算術平均=データの合計÷データの個数
- Excelでは、Averageを使う。
- ・例)テストの点数
- 国語100点
- 算数 80点
- •平均 (100+80)÷2=90
- ・ 算術平均は90点

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## NBU

### 調和平均(pp.149-150)

- 12km 離れた場所に、行きは4km/h、帰りは6km/hで移動しました。平均時速は何km/hか?(公務員試験でも出ます)
- 算術平均だと= (4+6) ÷2=5 5km/h
- 往路の所要時間 12km ÷ 4km/h = 3h
- 復路の所要時間 12km ÷ 6km/h = 2h
- 平均時速は(12+12)km÷(3+2) h = 24km÷5h=4.8km/h
- 調和平均は、n個の数字の逆数(1÷数字)の合計を分母、nを分子とした値で、データがプラスの時だけ使える。
- ・ 速度や、下限値に度数が多いときに有効
- ・Excelでは、HERMEAN

# NBU

### 度数分布(pp.144-145)

それぞれの回答数がどれだけか数え(<mark>頻度)、</mark> その分布を調べることを<mark>度数分布</mark>という。

- 対象集団にどのような傾向があるのか調べる。 却します。
- 2. P.144の表:回答者に夫婦と子供の世帯が多い
- 3. P.145の上の表:無回答を構成比に含めるか 含めないか分析によって異なる。
- 4. 複数回答の場合、回答の構成比は100%を超 えることがある。

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## NBU

### 代表値(pp.148-149)

- 代表値でポピュラーなのが平均
- 平均には種類がある
  - 算術平均(相加平均)
  - 幾何平均(相乗平均)
  - 調和平均
  - トリム平均

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## NBU

#### 幾何平均(pp.148-149)

- 売り上げの伸び率や、価格の変動利などの比例数を代表千利用いる。
- ・ 相乗平均とも呼ばれる
- 例えば、小売店の売り上げが2001年2000万円、2002年4000 万円、2003年16000万円だったとする。
- 前年比はそれぞれ
  - 2倍、4倍となる。
- 算術平均を使うと (2+4)÷2=3になるので、 2000万円、6000万円、18000万円となり、2003年の実績値と一致しない。
- 幾何平均= √(データの積)
- Excelでは、GEOMEANを使う。

 $\sqrt[2]{2\times4} = \sqrt{8} = \sqrt{2\times2\times2} = 2\sqrt{2} = 2\times1.414... = 2.83...$ 

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

# NBU

#### トリム平均(pp.150-151)

- スポーツ行儀の芸術点でつけらえる。
- ・調整平均という。専門家の点数がO点と 10点と大きくかけ離れた場合、言っての 値から外れた点数は計算しない。 ExcelではTRIMMEANを使う。

# NBU

### 範囲とばらつき (pp.153-154)

- 1. ばらつきが偏っていることがある。
- 2. その方よりを考慮する頃が大事
- 3. 範囲、標準偏差(分散)を求める。
- 4. 範囲
- 5. :最大值-最小值
- 6. 標準偏差
  - 1. データの平均と個々のデータの差
  - 2. 平均の差を求めるとマイナスの値があったら相殺される ので2乗する
- 7. Nで割るのは母集団がすべてのデータの場合
- 8. N-1で割るのは、標本抽出を行った場合
  - 1. アンケート調査の場合は標本抽出がほとんどなのでn-1 で割る。
  - 2. 標準偏差の関数はSTDEV

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University



#### 課題

課題1:次の数値について、Excelを使って最も望ましい方法で平均を求めなさい。

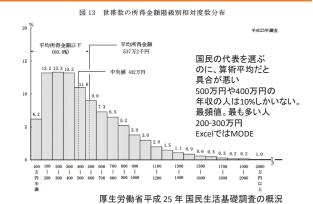
- 期末試験を行い6人の平均が次のときの平均を求めなさい。 A君:60点 B君:75点 C君:80点 D君:81点 E君:35点:F君:80点
- 会社の業績が1年目1200万円、2年目2300万円、3年目3500万円だった。平均の伸び率はいくらか?
- A君が2800m離れたところに遊びに行った。行きは 3km/h、帰りは、4km/hだった。A君の平均時速を求め なさい。

課題はメールで提出してください。 宛先: imanishimm@nbu.ac.ip 件名: SSMO608-学籍番号

メールの作法に従って、本文に、学籍番号・氏名、一言、 署名をつけて提出すること

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

# >>> 最頻値(pp.151-152)

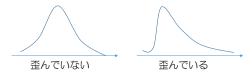


© Department of Business and Economics,

### NBU

### 歪度と尖度(pp.155-156)

歪度: 左右対称になっているかどうか



尖度:尖っているかどうか

